

読者の皆様との交流頁

この頁を読者の皆様とATACとの相互交流に使っています。

ATAC
ひと言

あなたの会社のリスク管理は如何ですか

「リスク管理」と言うことが重要視されるようになって久しいが、日常的に起こる変化から不時の災害までリスクの要因は数え切れない。日本人は第二次大戦後、長期間にわたって世界で希に見る高度成長を続けてきた事もあってかリスクに対する見方が欧米人に比べて不足している。そのことを現役時代に痛感させられた2つの事例があった。

売り手のリスク管理としては英国のメーカーから購入していたある材料を製品の売れ行きが好調だったので増産を依頼した時に断られた事があった。受注増を喜ばないメーカーなど無いと思いが理由を聞くと「同社の全売上に対して我社の購入額が25パーセントに達してこれ以上は経営リスクの点から増やせない」との事であった。

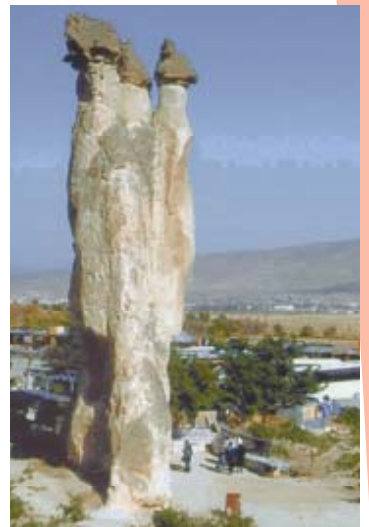
また買い手のリスク管理としては私の担当していた製品の一つにキーボードがありアメリカのコンピュータメーカー・コンパックに納入を始める時に経験したことだが、ヒューストンの本社から10名ほどの調査団が来社し1週間ほどかけて生産拠点である敦賀市の工場審査を行った。私が質問を受けた中に「敦賀市とその周辺には沢山の原

子力発電所があるが、これらが事故を起こした時の供給は確保できるのか」と言うことがあった。

2例ともリスク管理に関心が低かった20年ほど前のことだがその時には「そこまで言うか」と内心呆れたことが昨今新聞記事に見る原発の管理実態などから必要なリスク管理だったのかと思う今日この頃である。

どんな時にもへこたれない持続性のある企業を目指して、皆さんの会社のリスク管理もATACと一緒に考えてみませんか。

(吉田記)



企業
PR
コラム

「地球環境保全・環境汚染予防」に テクセル環境装置と耐蝕技術で応えます

セイコー化工機株式会社

代表取締役社長 佐野 喜之

セイコー化工機半世紀の歩みは、昭和27年我が国で硬質塩化ビニールの製造が開発された時いち早く耐食性を必要とする産業機器への利用に取り組み、お客様が困っておられる問題を聞くことから始まり、その解決・改善手法をお客様と一緒に見つけ出してきた歴史であります。



あらゆる産業の生産ラインで活躍するテクセル耐蝕ポンプ、送風機、冷却塔、排ガス処理装置やし尿・下水処理場施設で活躍するテクセル脱臭処理装置などの環境保全装置を設計・製造・施工および販売そして製品の運転管理を含めたフォローアップメンテナンスまでの機械・装置メーカーです。

高度に発達した工業化社会は、大気・水質・土壌汚染などの公害問題から地球温暖化による全地球的天候不順などの“環境破壊”を招いています。今後の産業発展は地球環境の保全と両立させる事が、世界的な合意となっています。

その環境汚染予防に常に最先端技術で応えることのできる化学機械・環境装置には、

①鉄鋼・化学工場・半導体産業などの製造プロセスから発生する酸性・アルカリ性ガス、粉塵を含むガス、NOxガス、シラン系ガス、白煙処理、ミスト処理、有機溶剤ガス、悪臭ガスなどを処理する環境装置は用途別に製品ラインナップをしています。

②し尿処理場・下水処理場から発生する臭気成分の中で常に高い臭気強度を示す硫化水素、メチルメルカプタンなどの硫黄成分の分解に効果を発揮する生物脱臭塔、活性炭吸着塔、活性炭フィルター、薬液洗浄塔および処理場内の沈殿池の環境改善として越流水整流板があります。

製品開発にはお客様からの市場ニーズを確実に製品に活かす為に製品に精通した営業マンと全国ネットによる販売体制で吸い上げる販売技術、長年の蓄積してきたガス分析技術・設計施工技術・耐蝕技術そして独自の生産技術の技術力によって我が社しか成し得ない顧客満足度第一の製品作りに挑戦を続けています。



▲排ガス処理装置



研究室風景▶

セイコー化工機株式会社

住 所：〒661-0026 尼崎市水堂町4丁目1番31号
TEL：06-6438-0841（代表）
FAX：06-6438-3001
URL：<http://www.seikow.co.jp>

ATACニュースに関するご意見、および今後のご要望をどしどしATAC事務局までご連絡ください。



ATAC事務局

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4
(財)大阪科学技術センター 技術・情報振興部
TEL06-6443-5323 FAX06-6443-5319
e-mail: atac@ostec.or.jp

URL <http://www.atac.ne.jp>

ATACホームページもご覧下さい